
(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040

(仮称) まちづくり基本目標・(仮称) 経営基本方針
(基本計画素案)

【概要版】

皆様のご意見をお寄せください

募集期間

2020年12月15日(火)から

2021年1月15日(金)17時まで ※必着

(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040について

(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040は基本構想部分と基本計画部分で構成される計画であり、それぞれについてパブリックコメントを実施することとしています。

基本構想部分のパブリックコメントは2020年6月15日から7月15日にかけて実施しました。

今回は基本計画部分である、(仮称)まちづくり基本目標と(仮称)経営基本方針のパブリックコメントを実施します。

この案をお読みいただき、内容や構成についてご意見がありましたら、巻末に記載の方法により、お送りください。いただいたご意見は、ビジョンの策定や、今後の政策・施策等の参考にさせていただきます。

はじめに 「(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040」とは

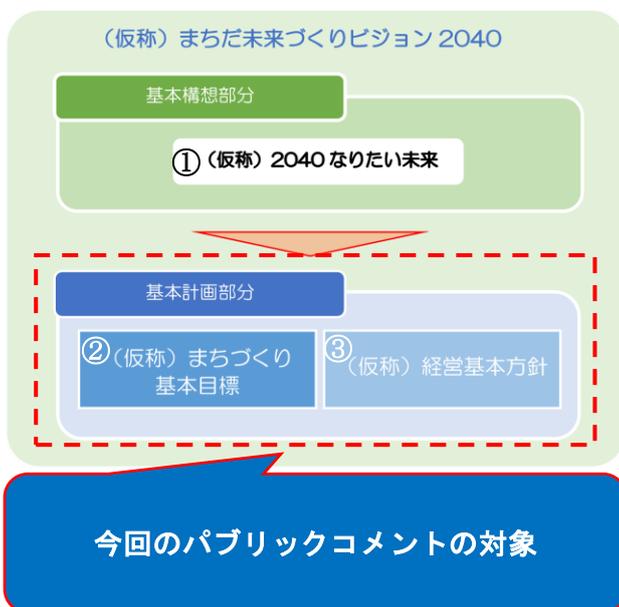
現行の町田市基本構想と基本計画「まちだ未来づくりプラン」は、2022年3月に計画期間を終えます。町田市を取り巻く社会状況は、人口減少や人口構造の変化、市民のライフスタイルや価値観の変化など、現基本構想と基本計画の策定時と比べて大きな変化を迎えています。

このような社会状況の変化をチャンスと捉え、誰もが夢を描き、幸せを感じられる未来を創るために、「(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040」を策定します。

このビジョンは、市民や地域団体、市内事業者など町田市に関わるすべての方々が、共に実現を目指していくビジョンとし、その実現に協力していただける人から新たに関わりを持っていただける人まで、多くの方を惹きつける魅力的なビジョンとして策定します。

そして、町田市におけるまちづくりの基本指針を示すとともに、市政運営の基本となるビジョンとします。

(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040 の構成



① (仮称) 2040 なりたい未来

まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を「なりたいまちの姿」(都市像)、「行政経営の姿」(経営像)として掲げます。

② (仮称) まちづくり基本目標

「(仮称) 2040 なりたい未来」で掲げた、なりたいまちの姿に沿った政策・施策を体系的に示し、なりたいまちの姿に至るための目標を設定します。

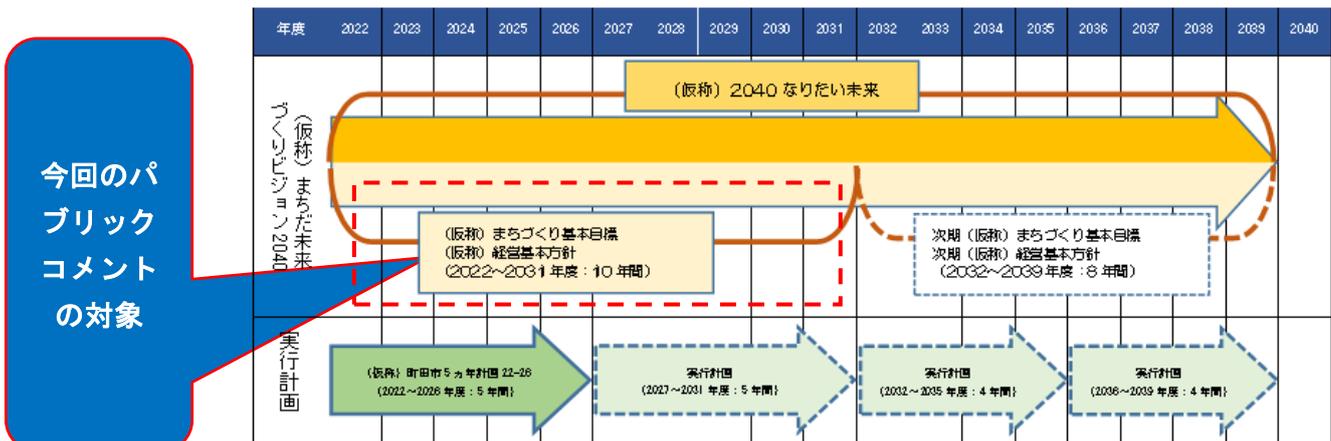
③ (仮称) 経営基本方針

「(仮称) 2040 なりたい未来」で掲げた、行政経営の姿に沿った取組を体系的に示し、「(仮称) まちづくり基本目標」を支える行政の経営方針を示します。

(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040 の計画期間

(仮称) 2040 なりたい未来 (基本構想部分) : 2022~2039 年度

(仮称) まちづくり基本目標 及び (仮称) 経営基本方針 : 2022~2031 年度・2032~2039 年度



(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040

基本計画素案【概要版】目次

1 (仮称) まちづくり基本目標と(仮称) 経営基本方針	1
計画策定の基本的な考え方	1
計画期間と想定人口	1
なりたいまちの姿の実現に向けた課題	1
行政経営の姿の実現に向けた課題	2
財政見通し	2
計画体系	3
持続可能な開発目標の実現	5
2 (仮称) まちづくり基本目標	6
政策 1 赤ちゃんに選ばれるまちになる	6
政策 2 未来を生きる力を育み合うまちになる	6
政策 3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる	7
政策 4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる	7
政策 5 人生の豊かさを実感できるまちになる	7
政策 6 つながりを力にするまちになる	8
政策 7 ありのまま自分を表現できるまちになる	8
政策 8 思わず出歩きたくなるまちになる	8
政策 9 みんなが安心できる強いまちになる	9
3 (仮称) 経営基本方針	10
基本方針 1 共創で、新たな価値を創造する	10
基本方針 2 対話を通して、市役所能力を高める	10
基本方針 3 次世代につなぐ財政基盤を確立する	10
4 「(仮称) 2040 なりたい未来」を実現するための横断的なテーマ	11
人口減少・少子化対策に向けて ～ 町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～	12
減災・防災に向けて ～ 町田市国土強靱化地域計画 ～	12
デジタル化による行政サービス改革に向けて ～ 町田市デジタル化総合戦略 ～	12
5 資料編	13
出生数	13
昼夜間人口	13
人口推移	14
政策・施策に紐づく SDG s	15
(仮称) 経営基本方針と SDG s の関係	16

1 (仮称) まちづくり基本目標と (仮称) 経営基本方針

計画策定の基本的な考え方

「(仮称) まちづくり基本目標」と「(仮称) 経営基本方針」は、「(仮称) 2040 年 成りたい未来」で掲げた、成りたいまちの姿と行政経営の姿を実現させるため、まちづくりの方向性と行政経営の方向性に沿って、何を目標にどのようにまちづくりを進めるかを体系的に示す、市政運営の基本となる計画で、以下のような点を特徴として策定しています。

(1) ライフステージを意識した政策体系

「(仮称) まちづくり基本目標」については、2040 年を見据え、多様なライフスタイルとこれからの人の生き方を思い、ライフステージを意識した政策体系とします。

(2) 行政経営の手法と資源の明確化

「(仮称) 経営基本方針」については、「(仮称) まちづくり基本目標」を実現するために必要な行政経営の手法と資源を明確に示し、市役所の能力を高めるとともに、市民一人ひとりのニーズに適したサービスを生み出していきます。

計画期間と想定人口

計画期間：2022 年度から 2031 年度（10 年間）

想定人口（2031 年度）：4 万 1 千 5 百人

成りたいまちの姿の実現に向けた課題

(1) 希望出生率の実現

人口の増加減少に関わらず、子育ての希望がかなうまちをつくること、子どもと共に成長し、幸せを感じることができるまちに求められています。

(2) 年少人口転入超過数の維持

町田市は近年、年少人口の転入超過数が上位に位置しています。今後も年少人口の転入超過が続くことが求められています。

(3) 20 代・30 代の転入促進

町田市は、近隣に大学や専門学校等が多数あり、学生の年代である 15～19 歳が大きく転入超過している一方、卒業から就職期の年代である 20 代は大きく転出超過になっています。これらの年代の転入促進が求められています。

(4) 45～64 歳への退職後を見据えた生き方の支援

この世代は、現在の人口のボリュームゾーンでもあるため、2040 年を見据え、次の生き方を学ぶ機会や場の提供をすることが求められています。

(5) 全世代での自己実現機会の創出

人口減少超高齢社会においては、高齢者を、支援の対象としてだけではなく活躍する世代と捉え、充実した生活を送っていただくことが健康寿命の延伸にもつながります。

また、20 代・30 代の中では、ミレニアル世代と呼ばれる、お金を得る事だけを目標としない、何かに貢献したいという生き方を望む人たちが現れています。

こうした利他的な活動を選択する層に対して活躍の場を提供することが求められています。

行政経営の姿の実現に向けた課題

(1) 新たな価値を生み出す公共サービスの展開

複雑化・多様化していく市民ニーズや行政課題に適切に対応していくためには、町田市単独ではなく、市民や事業者などと一緒に課題に向き合っていくことにより、新たなサービスを生み出していくことが重要になります。

(2) 市役所の生産性の向上

市役所の生産性をより高めていくためには、職員の意識改革と能力開発を進め、組織マネジメントを強化していかなければなりません。

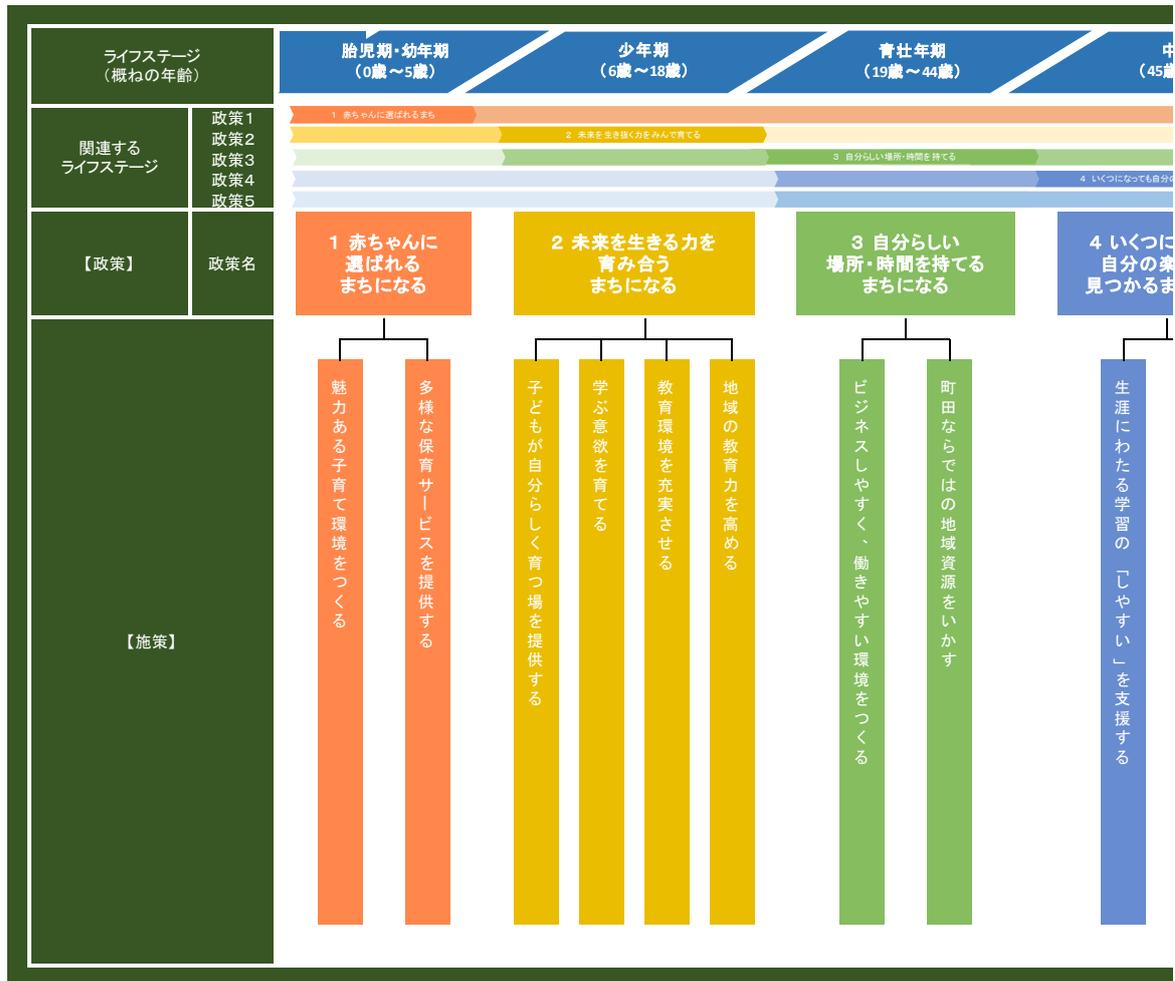
(3) 行財政資源の戦略的・効果的な活用

将来にわたって継続的に最適な公共サービスを提供していくためには、限られた行財政資源を戦略的・効果的に活用して最小の経費で最大の効果を追求していく必要があります。

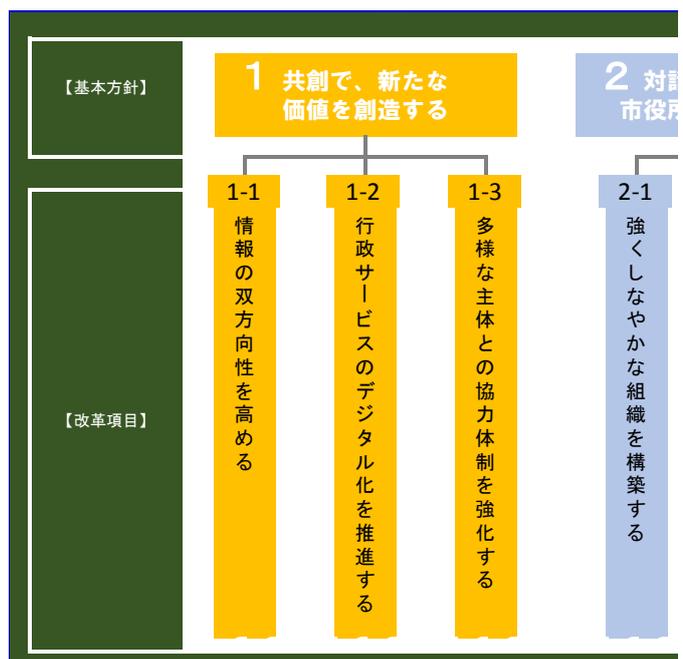
財政見通し

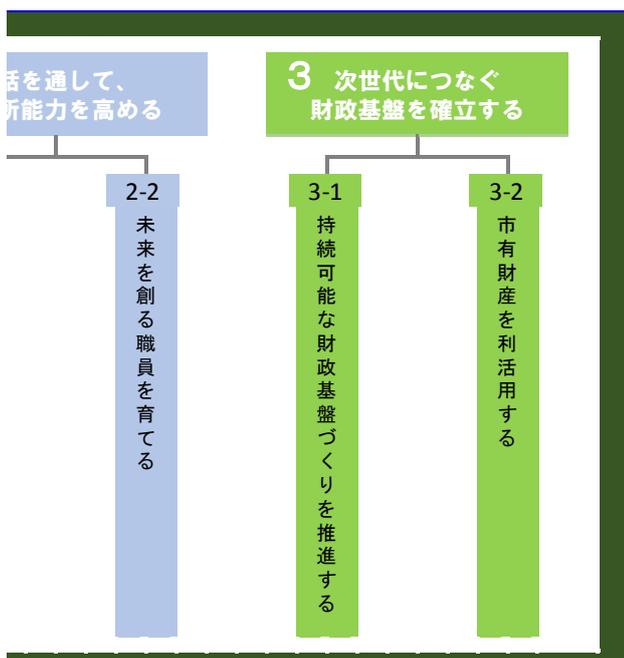
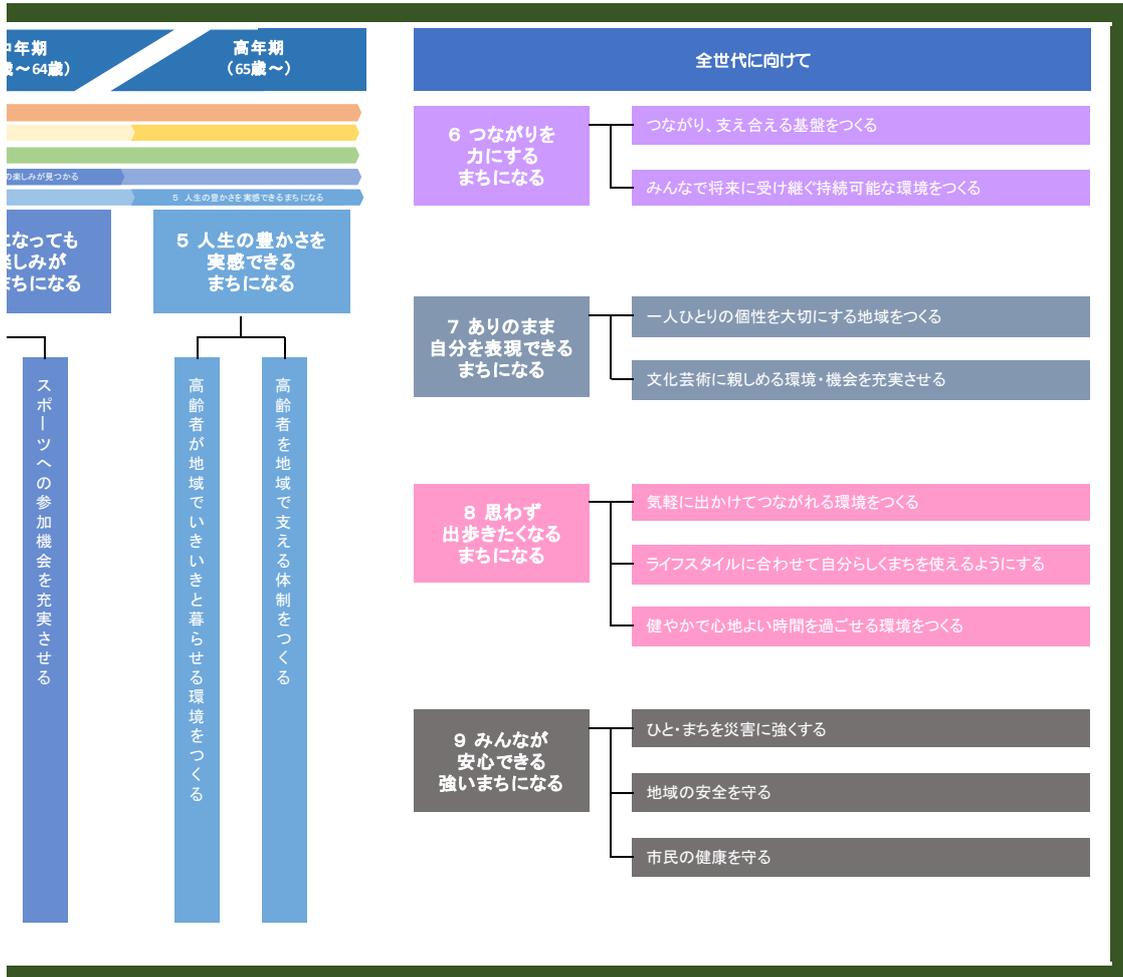
※財政見通しについては、推計を実施した結果を掲載する予定。

(仮称) まちづくり基本目標



(仮称) 経営基本方針





持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) の実現

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された、持続可能な世界の実現のために 2030 年までに世界中で取り組む国際目標です。持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための 17 のゴールから構成され、未来を見据えたバックキャスティングの発想を活用し「誰一人取り残さない」ために、先進国を含めた全ての国で取り組みが進められています。

町田市がこれまでに進めてきたまちづくりの取り組みは、多くの点で SDGs の理念や目標と合致することから、引き続き「(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040」における、政策や施策の推進を通して SDGs の実現に貢献していきます。



SDGs の 17 の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>【貧困】 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>【エネルギー】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>【気候変動】 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>
<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>【飢餓】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>【経済成長と雇用】 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。</p>	<p>14 海の豊かさをまもろう</p>	<p>【海洋資源】 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>【保健】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>【インフラ、産業化、イノベーション】 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>【陸上資源】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>【教育】 すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>【不平等】 各国内及び各国間の不平等を是正する。</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>【平和】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>【ジェンダー】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>【持続可能な都市】 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p>	<p>17 パートナースhipで目標を達成しよう</p>	<p>【実施手段】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p>
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>【水・衛生】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>【持続可能な生産と消費】 持続可能な生産消費形態を確保する。</p>		

2 (仮称) まちづくり基本目標



政策 1

赤ちゃんに選ばれるまちになる

赤ちゃん自身が暮らす場所を選ぶことはできませんが、その親や保護者となる人たちが安心して子どもを産み育てていけると思えることが、つまりは赤ちゃんに選ばれていると言えます。そんな場所として町田市が選ばれ続けていくよう、また、多くの方の子育ての希望がかなえられるよう、魅力ある子育て環境の整備や、育児と仕事の両立支援などを行ってまいります。

施策1-1

魅力ある子育て環境をつくる

施策1-2

多様な保育サービスを提供する



政策 2

未来を生きる力を育み合うまちになる

子どもたちは未来に向かって、やりたいことややりたいものを選び取っていきます。そして、その選択肢を増やせるよう支えていくことが市の責務です。町田市で育った子どもたちが様々な分野で活躍できるよう、また、地域全体で成長していくことができるよう、子どもたちの学ぶ意欲を育てる取り組みや、教育環境の充実などを図っていきます。

施策2-1

子どもが自分らしく育つ場を提供する

施策2-2

学ぶ意欲を育てる

施策2-3

教育環境を充実させる

施策2-4

地域の教育力を高める



政策3

自分らしい場所・時間を持てるまちになる

都市と自然が共存する町田市は、それぞれの思い描くライフスタイルを実現できるまちです。仕事でも遊びでも、自分らしくいられる場所や時間を持てることは、暮らしの質を向上させます。働き盛りの世代をはじめ、町田市で活動する人たちが充実した日々を過ごせるよう、多様な働き方に適した環境づくりや、地域資源の魅力向上・情報発信などを行っていきます。

施策3-1

ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる

施策3-2

町田ならではの地域資源をいかす



政策4

いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる

人生100年時代において、中年期はまだ人生の折り返し地点を過ぎたあたりです。いまのキャリアを成熟させるとともに、現段階からセカンドキャリアを見据えた学びや活動を始めることで、より充実した人生設計が可能となります。いくつになっても、打ち込めるものが見つけられるよう、生涯学習の支援や、スポーツ環境の充実などを図っていきます。

施策4-1

生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

施策4-2

スポーツへの参加機会を充実させる



政策5

人生の豊かさを実感できるまちになる

「団塊ジュニア世代」が高齢者となる2040年に向かって高齢化は更に進み、高齢者への支援や介護に関するニーズは一層の増加と多様化が見込まれます。高齢になっても元気な方がいる一方、支援を必要とする方もいる中で、人生の豊かさを感じながら地域で暮らすことができるよう、いきいきと暮らせる環境づくりや、高齢者を地域全体で支えていく体制づくりなどを行っていきます。

施策5-1

高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる

施策5-2

高齢者を地域で支える体制をつくる

政策 6

つながりを力にするまちになる

私たちの生活は、地域に暮らす様々な人との関わりの上に成り立っています。その中で活躍する人や団体を支えていくことが、特色ある地域づくりの一助となり、また、みんなで実現を目指す目標の達成に寄与します。地域におけるつながりを力にできるよう、支え合える基盤をつくとともに、その基盤に基づく持続可能な生活環境づくりなどを行っていきます。

施策6-1

つながり、支え合える基盤をつくる

施策6-2

みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる

政策 7

ありのまま自分を表現できるまちになる

年齢、性別、国籍の違いや障がいの有無などに加え、いろいろな考え方の人たちが暮らしているということが、町田市未来を考える上での前提です。お互いを尊重し、認め合うことで、みんながありのままの自分というものを表現できるよう、一人ひとりの個性を大切にする地域づくりや、文化芸術に親しめる環境・機会の充実などを図っていきます。

施策7-1

一人ひとりの個性を大切にする地域をつくる

施策7-2

文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる

政策 8

思わず出歩きたくなるまちになる

便利で快適な交通や、多様な住まい・公共空間、身近に触れられるみどり、このようなものを整えていくことでまちは成長し、私たちの暮らしは潤いあるものとなります。これから先、町田市が思わず出歩きたくなるまちでいられるよう、気軽に出かけてつながれる環境づくりや、健やかで心地よい時間を過ごせる環境づくりなどを行っていきます。

施策8-1

気軽に出かけてつながれる環境をつくる

施策8-2

ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを使えるようにする

施策8-3

健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる

政策 9

みんなが安心できる強いまちになる

市民の命や健康を守ることは、市の最も重要な責務の一つです。安心できる暮らしがあってこそ、そのまちの未来に思いをはせることができます。どんな災害や疫病にも負けない、とにかく強いまち、そんなまちになれるよう、ひと・まちを災害に強くするとともに、地域の安全を守る、そして市民の健康を守るための取り組みなどを行っていきます。

施策9-1 ひと・まちを災害に強くする

施策9-2 地域の安全を守る

施策9-3 市民の健康を守る

3 (仮称) 経営基本方針

基本方針 1

共創で、新たな価値を創造する

多様な主体との連携を推進することにより、地域の活性化やまちづくりを効果的に推進します。また、情報の発信と共有を積極的に行うとともに、市民ニーズを的確に把握し、市民の声を施策へ反映します。市民の理解と共感を得ながら、共にまちづくりに挑戦する「共創のまちづくり」を進めます。

改革項目1-1

情報の双方向性を高める

改革項目1-2

行政サービスのデジタル化を推進する

改革項目1-3

多様な主体との協力体制を強化する

基本方針 2

対話を通して、市役所能力を高める

対話を通して、気づきを得ることで、職員の意識改革や業務改革を進め、市民に信頼される行政経営を行います。

また、急速に変化する社会環境に即応するため、強くしなやかな組織づくりと、挑戦する人材の育成を行います。

改革項目2-1

強くしなやかな組織を構築する

改革項目2-2

未来を創る職員を育てる

基本方針 3

次世代につなぐ財政基盤を確立する

税収の減少など厳しい財政状況が予想される中でも、将来にわたって選ばれるまちであり続けられるよう、安定した財政基盤の確立と未来への投資を積極的に推進します。

また、更新時期を迎える多くの公共施設を総合的に維持管理・活用するなど、市有財産の効率・効果的な活用を進めます。

改革項目3-1

持続可能な財政基盤づくりを推進する

改革項目3-2

市有財産を利活用する

4 「(仮称)2040 になりたい未来」を実現するための横断的なテーマ

「(仮称)まちだ未来づくりビジョン 2040」は町田市に関わるすべての方々の「になりたい未来」を実現するための計画であり、「(仮称)まちづくり基本目標」や「(仮称)経営基本方針」は、従前からの課題である人口減少に伴う少子化に加え、近年では台風や地震等の大規模自然災害にどのように備えていくのか、といった課題克服も内包しています。

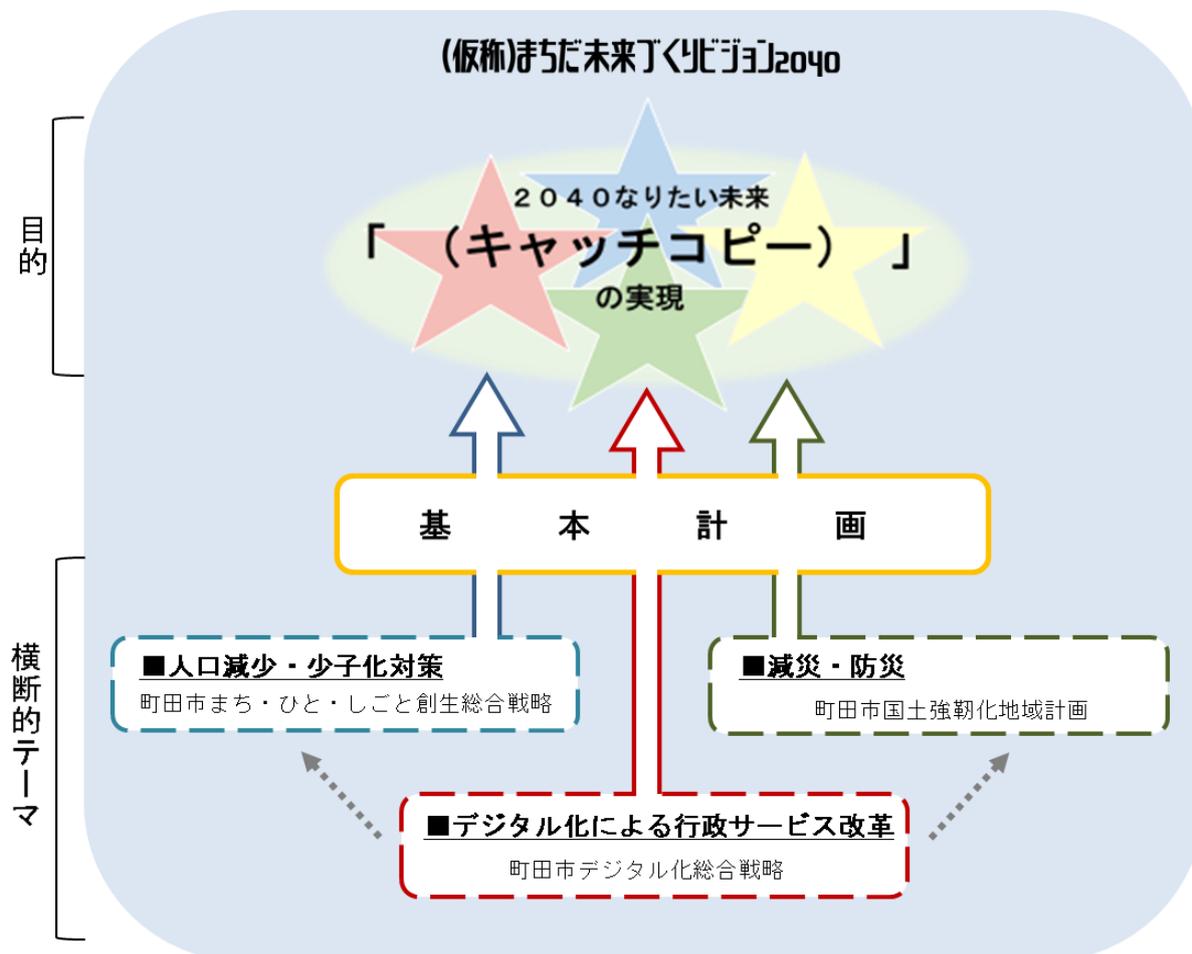
更に、それらを進めていく上で欠かせない視点である市民の利便性向上等は、様々な分野に関わるテーマです。そこで、以下のテーマについて、関連する政策分野にスポットを当て、横断的に取り組んでいきます。

テーマ1 人口減少・少子化対策

テーマ2 減災・防災

テーマ3 デジタル化による行政サービス改革

ここに掲げるテーマに対応していくことは、各テーマに焦点を当てた国が主導する個別計画等の推進にもつながっていくことから、「(仮称)まちだ未来づくりビジョン 2040」は、「町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「町田市国土強靱化地域計画」、「町田市デジタル化総合戦略」を兼ねるものとします。



人口減少・少子化対策に向けて ～ 町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～

人口減少が見込まれる中、現在の転入超過数の維持が難しくなる可能性があることに加え、今後出生数が減少し、少子化と高齢化の進行によって人口構成に偏りが生じることが懸念されます。今後もできる限り人口を維持していき、市民にとって安心して暮らすことができる活力あるまちであり続けることが重要です。人口減少対策にあたり、経済の活性化、交流の場の創出も同様に取り組むことで、魅力あるまちづくりを目指します。

具体的な方策としては、数値目標を設定するとともに、実行計画において、人口減少・少子化対策に資する特に重要な事業を重点事業に位置づけ、横断的に取り組んでいきます。

減災・防災に向けて ～ 町田市国土強靱化地域計画 ～

町田市における国土強靱化とは、自然災害が発生するたびに、長時間をかけて復旧復興を図るといった事後対策の繰り返しを避け、最悪な事態に陥ることが避けられるよう「強さ」と「しなやかさ」を持った、安全・安心な社会を平時から作り上げていこうというものです。そのため、これまで「町田市地域防災計画」で取り組んでいた災害時の対処策に加え、災害が起きる前の平時から、事前減災・防災と迅速な復旧復興に資する施策をあらかじめ総合的かつ計画的に実施します。

具体的には、実行計画において、減災・防災に資する特に重要な事業を重点事業に位置づけ、部門横断的に取り組んでいきます。

デジタル化による行政サービス改革に向けて ～ 町田市デジタル化総合戦略 ～

町田市においては2020年3月に「“e-まち実現”プロジェクト」を立ち上げ、市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上に向けて、積極的にデジタル化を進めています。更に、今後は「町田市デジタル化総合戦略」を実行することで、市民、事業者等があらゆる活動においてデジタル技術の便益を享受し、安全で安心な暮らしや豊かさを実感できるような社会の実現を目指していきます。

(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040		横断的テーマ		
		人口減少	減災 防災	行政サービス 改革
(仮称)まちづくり基本目標	政策1 赤ちゃんに選ばれるまちになる	◎	○	○
	政策2 未来を生きる力を育み合うまちになる	○	○	○
	政策3 自分らしい場所・時間をもてるまちになる	◎	○	○
	政策4 いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる	○	○	○
	政策5 人生の豊かさを実感できるまちになる	◎	○	○
	政策6 つながりが力になるまちになる	◎	○	○
	政策7 ありのままの自分を表現できるまちになる	○	○	○
	政策8 思わず出歩きたくなるまちになる	◎	○	○
	政策9 みんなが安心できる強いまちになる	◎	◎	○
基本方針 (仮称)経営	基本方針1 共創で、新たな価値を創造する	○	○	◎
	基本方針2 対話を通して、市役所能力を高める	○	○	◎
	基本方針3 次世代につなぐ財政基盤を確立する	○	○	○

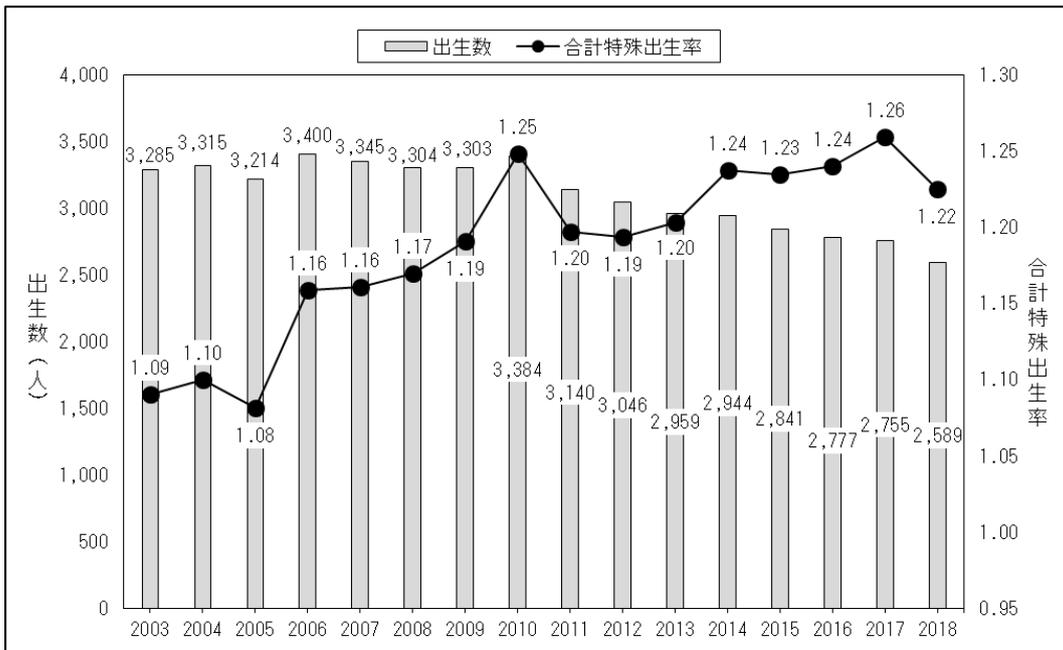
5 資料編

出生数

○町田市における出生数を見ると、2010年までは3,200～3,400人前後を維持してきたものの、2011年以降は年々減少しています。

町田市における出生数と合計特殊出生率の推移

出典：東京都福祉保健局「人口動態統計」

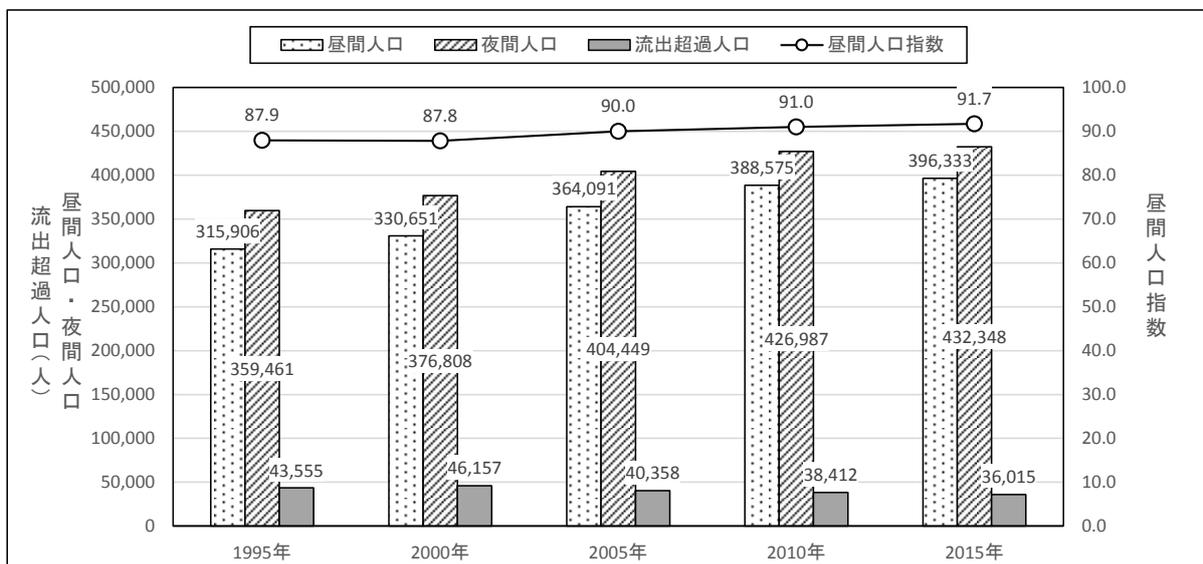


昼夜間人口

○1995～2015年まで一貫して昼間人口は夜間人口を下回っており、流出超過の傾向にあります。流出超過人口は1995年の43,555人から2015年の36,015人へ7,540人(17.3%)減少しており、昼間人口指数は2015年には91.7と1995年の87.9と比較すると3.8増加しています。

町田市における昼間人口・夜間人口等の推移

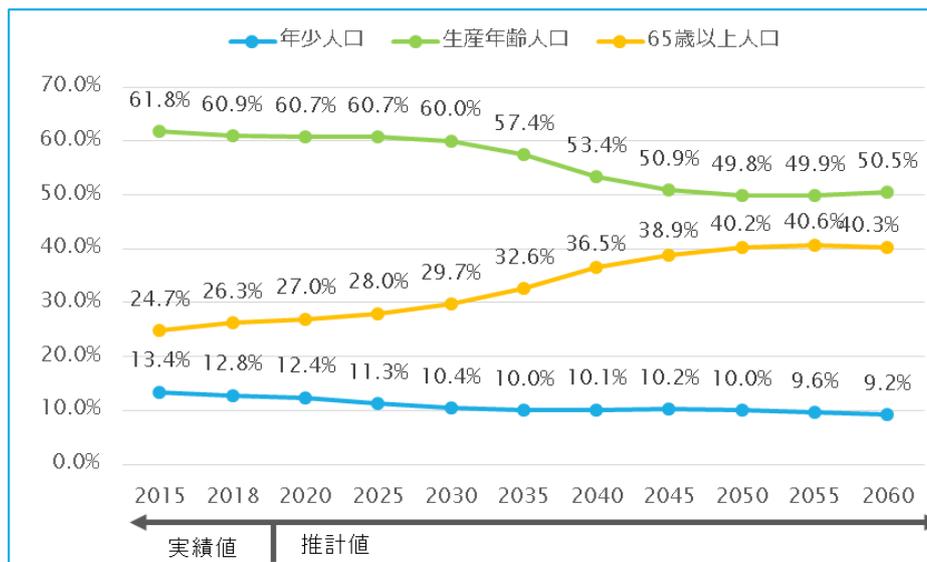
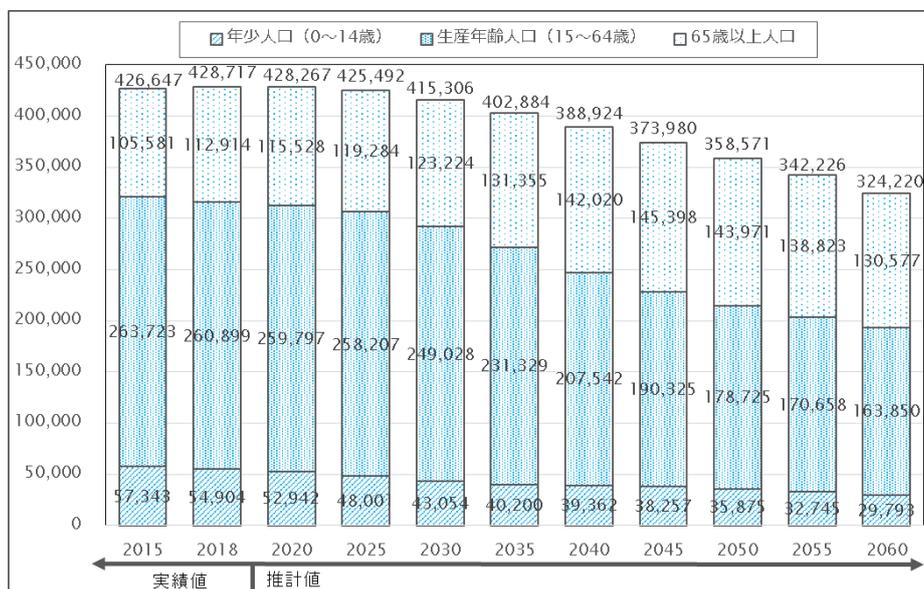
出典：総務省「国勢調査(各年10月1日現在)」



人口推移

- 町田市が行った将来人口推計の結果に基づき、2020年以降の推移をみると、近い将来、総人口は長期にわたる減少局面に移行します。その減少幅は年を経るごとに拡大し、2040年には40万人台を割り込むおそれがあります。
- 年齢階層別にみると、0～14歳の年少人口は2025年に5万人台を割り込んだ後、2040年には4万人を切るまで減少します。同様に、15～64歳の生産年齢人口は2030年頃から減少傾向がより一層進行すると予測されています。一方、65歳以上の老年人口は、一貫して増え続け、2040～2050年には14万人を超える水準に達すると予測されており、特に75歳以上人口は2055年まで増加し続けることが見込まれています。

町田市における将来人口の推計結果



政策・施策に紐づく SDGs

No.	1		2				3		4		5		6		7		8			9		
政策名	赤ちゃんと選ばれるまちになる		未来を生きる力を育み合うまちになる				自分らしい場所・時間を持つまちになる		いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる		人生の豊かさを実感できるまちになる		つながりを力にするまちになる		ありのまま自分を表現できるまちになる		思わず出歩きたくなるまちになる			みんなが安心できる強いまちになる		
施策名	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2	6-1	6-2	7-1	7-2	8-1	8-2	8-3	9-1	9-2	9-3
	魅力ある子育て環境をつくる	多様な保育サービスを提供する	子どもが自分らしく育つ場を提供する	学ぶ意欲を育てる	教育環境を充実させる	地域の教育力を高める	ビジネスしやすく、働きやすい環境をつくる	町田ならではの地域資源をいかす	生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する	スポーツへの参加機会を充実させる	高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境をつくる	高齢者を地域で支える体制をつくる	つながり、支え合える基盤をつくる	みんなで将来に受け継ぐ持続可能な環境をつくる	一人ひとりの個性を大切にできる地域をつくる	文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる	気軽に出かけてつながれる環境をつくる	ライフスタイルに合わせて自分らしくまちを伝える	健やかで心地よい時間を過ごせる環境をつくる	ひと・まちを災害に強くする	地域の安全を守る	市民の健康を守る
	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-
	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●
	-	-	-	●	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
	●	●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	●	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	●	●	●	●	●	●	●	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	●	●	●	●	-	●	-	-	-	●	-	-

(仮称) 経営基本方針と SDG s の関係

(仮称) 経営基本方針は、まちづくり基本目標で掲げた政策・施策の実現を通じて、SDG s の実現に貢献していきます。



【(仮称) 経営基本方針】

No.	1	2	3
基本方針名	共創で、新たな価値を創造する	対話を通して、市役所能力を高める	次世代につなぐ財政基盤を確立する
	—	●	—
	—	●	—
	●	●	●
	●	—	●

意見の提出について

○募集期間

2020年12月15日（火）から2021年1月15日（金）17時まで

※窓口提出、郵送・FAX・メール到着ともに上記時間が締め切りです。

○資料の閲覧・配布

町田市ホームページに掲載するほか、次の窓口で閲覧および資料の配布を行います。

※町田市ホームページ

トップページ>市へのご意見>広聴に関する取り組み>パブリックコメント>現在実施されているパブリックコメント

市政情報課・広聴課（市庁舎1階）、企画政策課（市庁舎4階）、各市民センター、木曽山崎コミュニティセンター、各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター、生涯学習センター

※それぞれの窓口で開庁（館）日・時間が異なります。

○ご意見の提出方法

郵送、FAX、メール、または担当課ほか資料を配布している窓口へ直接提出してください。

郵送の場合は、配布資料に添付している専用封筒（料金受取人払郵便）をご利用いただけます。

※添付の「ご意見記入用紙」をご利用ください。

※窓口や電話の口頭でのご意見は受付できません。

意見募集について、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

町田市役所 政策経営部 企画政策課 未来づくり担当

〒194-8520 町田市森野2-2-22

電話：042-724-2103 FAX：050-3085-3082

メール：mcity4780@city.machida.tokyo.jp